

令和6年能登半島地震の被害に伴う志賀町の断水解消について

横浜市水道局は、令和6年能登半島地震による被害が甚大な石川県輪島市及び志賀町に対して、(公社)日本水道協会(以下「日水協」)の要請に基づき、関東地方支部長都市として水道の応急復旧及び応急給水のパッケージ支援を行っています。このたび、志賀町においては3月2日までにすべての地区で通水が完了し、断水が解消されました。

なお、輪島市の断水解消にむけて、引き続き活動を継続していきます。

1 応援事業体

志賀町には日水協を通じて17の事業体が復旧支援を行いました。

横浜市水道局、東京都水道局、横須賀市上下水道局、宇都宮市上下水道局、千葉県企業局、八千代市上下水道局、川口市上下水道局、川崎市上下水道局、さいたま市水道局、神奈川県企業庁企業局、越谷・松伏水道企業団、前橋市水道局、足利市上下水道部、小田原市上下水道局、春日部市上下水道部、群馬県東部水道企業団、広島市水道局(順不同)

2 稲岡 健太郎 志賀町長のコメント

発災後、上下水道が損傷し8,800戸が断水となりました。復旧の目途も立たず、住民からの問合せにもいつ復旧できるか答えられず、見通しが立たない状況で途方にくれていた中、応援に来てくれて、まさに救世主でした。当初は断水解消まで3月いっぱい掛かると思われていたところ、1か月も早く復旧を完了してくれて感謝しています。



志賀町長(左奥)から感謝の言葉をいただく
横浜市水道局と国土交通省の職員

【参考】能登半島地震におけるこれまでの横浜市水道局の派遣者数(延べ人数・3月4日時点)

応急復旧隊：職員213人、工事業業者18者93人 応急給水隊：職員121人

お問合せ先

水道局総務部担当課長(危機管理担当) 竹内 明子 Tel 045-671-3104